平成11年度当初予算　一般会計408億1千500万円

都市基盤整備の推進　環　境　福　祉

平成11年度の当初予算が第１回定例市議会で成立しました。市財政の中心となる一般会計予算額は、408億１千500万円で、前年度に比べ６億８千200万円、1.70%の増です。さらに、特別会計と水道事業会計を含めた予算総額は、667億３千553万７千円で3.59%の増です。ここでは、主に一般会計予算の内容を歳入歳出別にお知らせします。

歳入

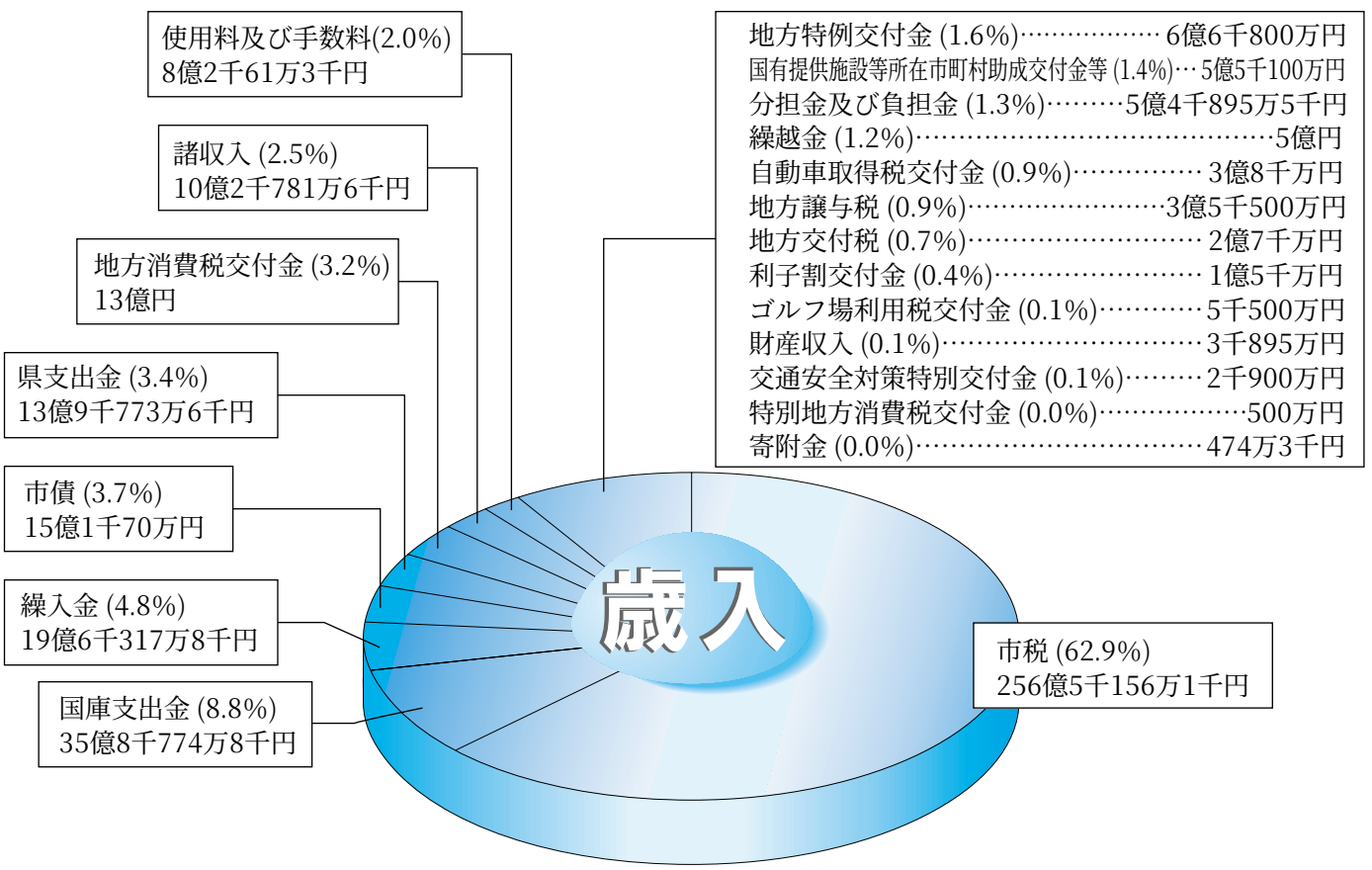
市税が半分以上を占め、前年度に比べ1・7%の伸びとなっています。続いて多いのが国庫支出金で、前年度比で31・3%の増となっています。

歳出

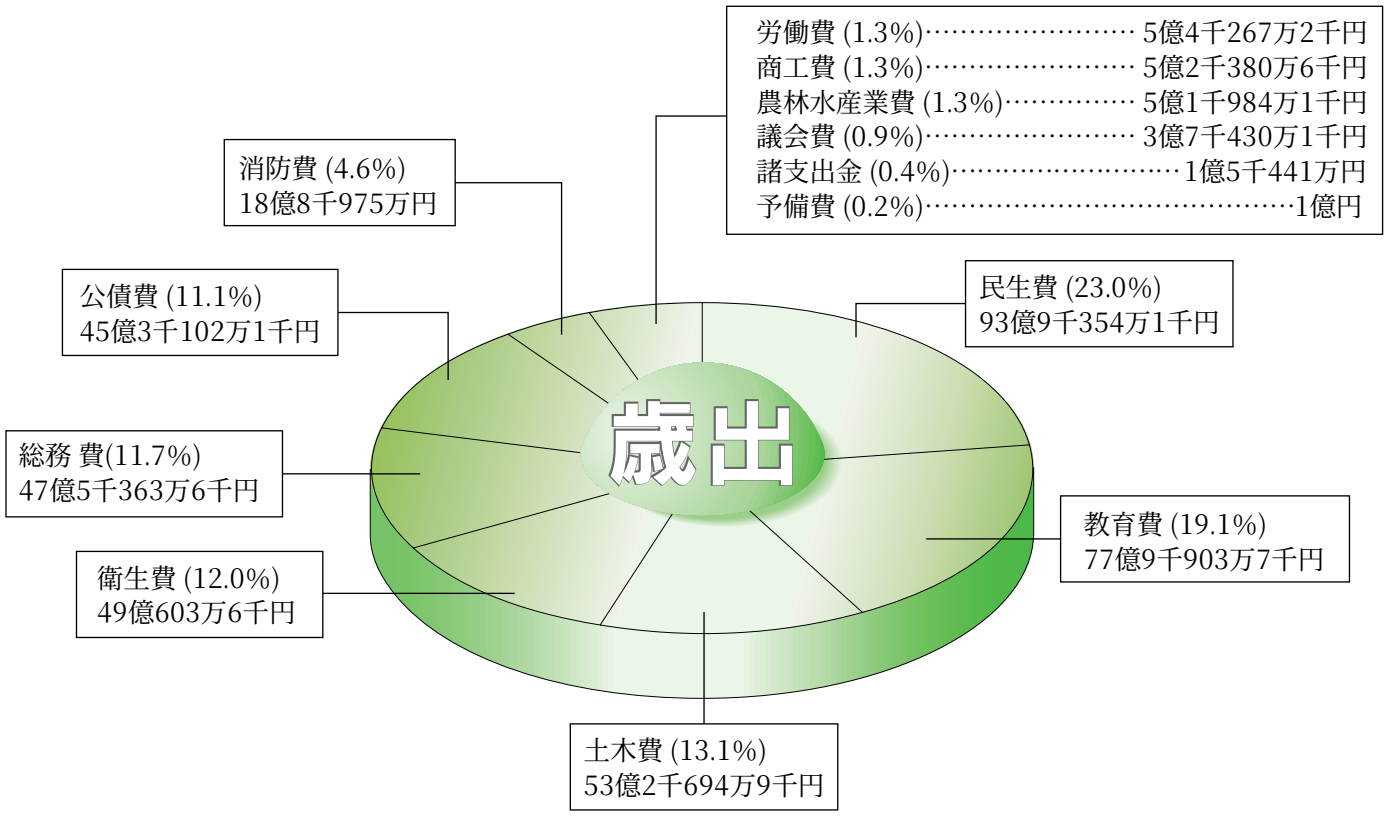
民生費が最も多く、福祉公社の設立や高齢者・障害者・児童福祉の充実を図ります。教育費では、入間川小学校移転建替事業など教育環境の充実、また、土木費では道路の整備・改修、公園の整備・管理や高齢者向けケア付き住宅建設事業など都市基盤の整備に充てられます。衛生費は、健康推進、ごみ処理、ダイオキシン対策や新エネルギー利用施設(仮称)建設事業などに充てられます。図1は歳出を性質別に表したもので、図2―1・2は、目的別歳出と市税を市民の皆さん一人当たりに換算したものです。

なお、８ページでは平成11年度の重点施策として位置づけられている主な事業を紹介します。

問い合わせ　財政課へ内線7113



歳入総額408億1千500万円（100.0%）



歳出総額408億1千500万円（100.0%）

平成11年度狭山市予算一覧表

（単位：千円）

区分		平成11年度予算額	平成10年度予算額	金額の比較	増減率（%）
一般会計		40,815,000	40,133,000	682,000	1.70
特別会計	国民健康保険	7,455,161	7,087,162	367,999	5.19
	下水道事業	4,794,165	3,833,384	960,781	25.06
	文化及び産業功労者等奨励事業	――――	2,075	△2,075	△100.00
	老人保健	8,617,425	8,613,532	3,893	0.05
	狭山都市計画事業上広瀬土地区画整理事業	402,943	472,974	△70,031	△14.81
	狭山都市計画事業狭山市駅東口土地区画整理事業	312,134	262,601	49,533	18.86
	計	21,581,828	20,271,728	1,310,100	6.46
水道事業会計		4,338,709	4,017,792	320,917	7.99
合計		66,735,537	64,422,520	2,313,017	3.59

歳出の性質別内訳（図１）

①人件費 (27.9%)	113億９千815万４千円
②物件費 (18.1%)	73億８千718万８千円
③投資的経費 (15.9%)	64億７千561万７千円
④扶助費 (12.7%)	51億７千522万５千円
⑤公債費 (11.1%)	45億３千72万２千円
⑥繰出金 (6.4%)	26億１千608万６千円
⑦その他 (7.9%)	32億３千200万８千円
総額 (100.0%)	408億１千500万円

市民一人当たりに使われるお金（図2−1）

①民生費	５万７千657円
②教育費	４万７千870円
③土木費	３万２千696円
④衛生費	３万113円
⑤総務費	２万９千177円
⑥公債費	２万７千811円
⑦消防費	１万１千599円
⑧その他	１万３千596円
歳出総額	25万519円

市民一人が負担する市税（図2−2）

①市民税	７万９千681円
②固定資産税	６万３千902円
③都市計画税	７千546円
④市たばこ税	５千721円
⑤軽自動車税	571円
⑥特別土地保有税	26円
市税総額	15万７千447円

※図2－１・２の人口は16万２千922人（平成11年１月１日）